



すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

スポーツの力で地域ににぎわいを

～スポーツを「する」「みる」「ささえる」～

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことは、健康な体や生きがいづくりにつながります。県では、県民の皆さんに感動や活力をもたらす、地域ににぎわいや豊かさを生み出すことを目的に、生涯スポーツの推進やスポーツを通じた地域の活性化などに取り組んでいます。

スポーツを「する」

過大な負荷をかけず、楽しみながら体を動かすこともスポーツです。適度なスポーツを「する」ことを心掛け、健康的な生活を営みましょう。

総合型地域スポーツクラブ

住民が住民のために運営する地域スポーツクラブです。現在、県内で32クラブが活動中です。地域の皆さんと一緒に楽しく運動しましょう。

※クラブの一覧を県のウェブサイトに掲載しています



スポーツを「みる」

スポーツを「みる」ことで、気分がリフレッシュし、自身も活力が得られます。また、応援することによって、スポーツを「する」人の力になることもできます。プロスポーツに限らず、地域で行われる大会などでスポーツを観て応援して、地域を盛り上げましょう。

長崎ヴェルカ

長崎初のプロバスケットボールクラブでB3リーグへの参入が決定しました。シーズン開幕は今年の秋の予定です。



スポーツを「ささえる」

スポーツを「ささえる」ことで、多くの人々が交流し、共感することにより、社会の絆が強くなっていきます。運営者や指導者、活動を手伝うボランティアなど、スポーツのささえ方はさまざまです。

スポーツ推進委員

各種スポーツの実技指導や大会の企画運営などを行う地域のスポーツ振興のコーディネーターです。



県では、本県のスポーツ振興の重要な指針となる「ながさきスポーツビジョン(2021-2025)」を策定しました。県のウェブサイトにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

【基本理念】長崎の未来をスポーツで創る

● 4つの基本方針

- 1 生涯スポーツの推進
- 2 子どものスポーツ機会の充実
- 3 競技スポーツの振興
- 4 スポーツを通じた地域の活性化



JAながさき県央養豚部会

(諫早市)



お話を伺ったのは
部会長
やまもとよしのり
山本義則さん



県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

ブランド豚の開発で 他産地との差別化を図る

本部会は、地域の養豚農家の経営安定・向上や豚の改良の促進、豚肉の消費拡大と食育の推進などを目的に設立されました。輸入肉との競合などで養豚業を取り巻く環境が厳しくなる中、他産地の豚肉と差別化し、商品価値を高めるため、独自ブランド「ながさき健王豚」の生産に17年前から取り組んでいます。



県内スーパーなどで販売されているほか、諫早市のふるさと納税の返礼品などでも好評を得ている

おいしさの秘訣は 米を配合したエサ

育てる上でこだわっているのはエサです。一般的には外国産のトウモロコシ100%の飼料を使うことが多いですが、健王豚は食用米を15%配合したものを与えており、脂身が甘く、味にコクのある豚肉になります。また、豚はデリケートな動物ですので、豚舎内を常に清潔に保つ必要があります。夏は直射日光を跳ね返すために屋根に石灰を塗布し、大型扇風機を回すなど、温度・湿度にも気を配り健康管理に万全の対策を行っています。



「ながさき健王豚」は三品種の豚を掛け合わせたブランド豚

出荷頭数を伸ばし 知名度アップを目指す

現在、本部会の会員は9名と少数精鋭で、うち3名が後継者となる若い世代です。後継者研修などにより、基礎知識の向上を図るほか、関係機関と信頼関係を構築しています。現在、健王豚の年間出荷頭数は約8,000頭ですが、少しずつでも生産を伸ばしていくのが目標です。また、イベントなどでの販売促進や情報発信など知名度アップにも力を入れ、もっと多くの人に「ながさき健王豚」について知っていただきたいですね。



お揃いの法被で健王豚をPRする会員の皆さん



県央地区ですくすく健康に育った豚肉の王様「ながさき健王豚」エサや環境にこだわって、愛情いっぱい育てています。